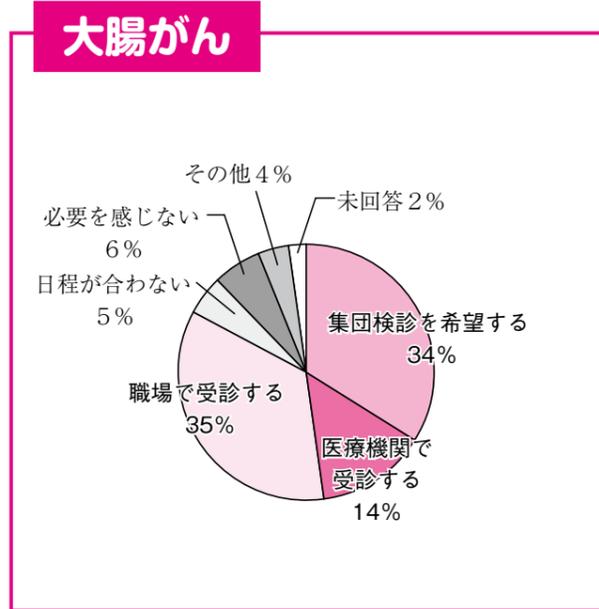
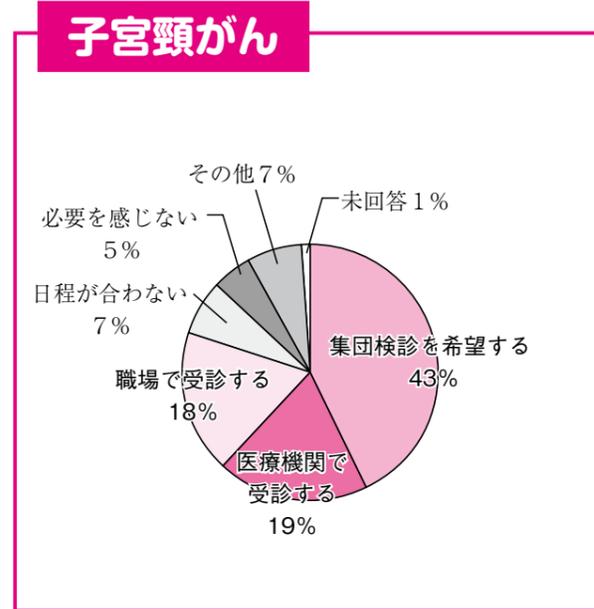
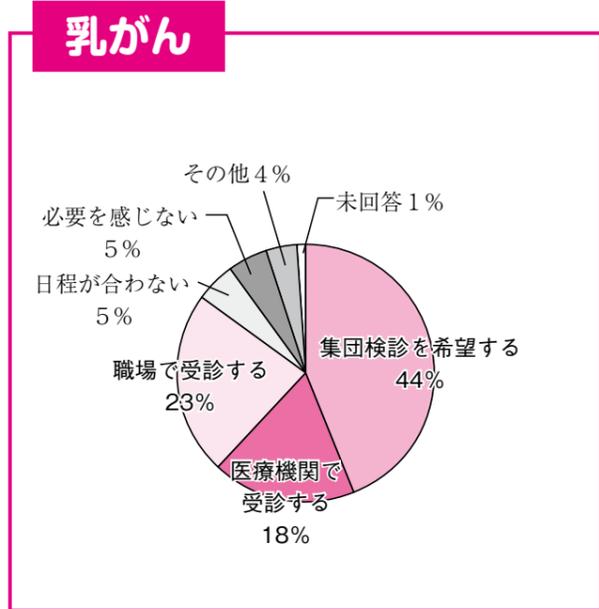
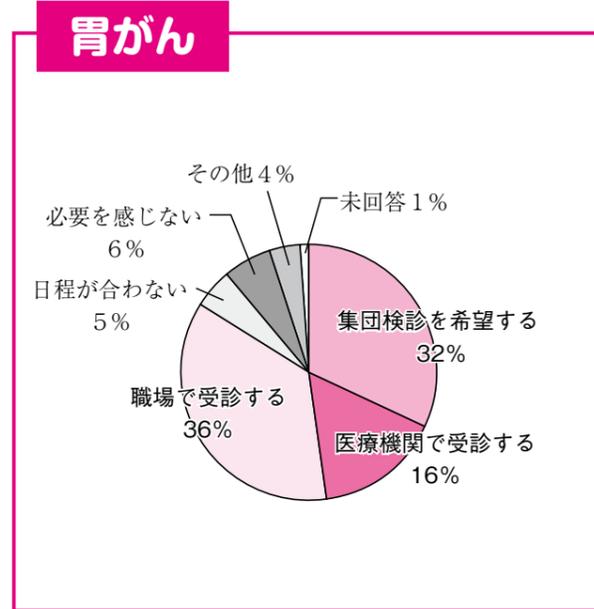
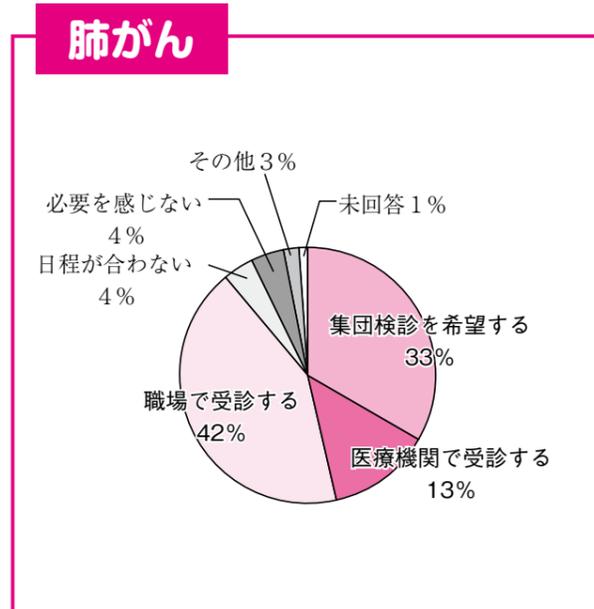


平成22年度 がん検診アンケート調査結果

昨年9月に南国市に住民登録のある40歳から60歳の男性、20歳から60歳の女性、約18,000人を対象にアンケート調査を実施、そのうち4,951人の方から回答をいただきました。アンケートの結果と多かったご要望やご質問にお答えします。

【アンケート質問】

- (1) 本市の実施する集団検診の受診を「希望する・希望しない」に○を記入してください。
- (2) 希望しないと答えた方は、その理由を教えてください。



●特定健診とがん検診を同時に受診したい
総合健(検)診で受診できません。23年度は6回予定しています。

●休日・夜間に受診したい
23年度は休日に総合健(検)診を予定しています。

●受診年齢を下げしてほしい
現在のところ健康増進事業の対象者のみです。対象年齢未満の方は、実費で受診できます。乳がん検診は、若年の方は乳腺が発達しており、マンモグラフィには適していないため集団検診は行っていません。

●市で実施しているがん検診以外の検診(子宮体がん検診、胃カメラなど)を受診したい
市の行う「がん検診」として、厚生労働省が有効性を認めている5つの検診を行っています。そのうち、子宮がん検診は、子宮頸がん検診のみ行っています。子宮体がん検診は、子宮の内膜を検査するため痛みと出血を伴うことがあり集団検診には適さないため行っていません。胃カメラ

●子宮頸がん・乳がん検診が2年に1回となった理由は？
専門家でご成される「がん検診に関する検討会」で受診間隔を検討した結果、2年に1回とすることが適切であることが報告されたためです。ただし、気になる症状がある人は速やかに医療機関などで診察を受けてください。

●子宮頸がん・乳がん検診のスタッフを女性にしたい
受付事務は女性が担当しています。乳がん検診の検査技師は、現在のところ検診委託機関に女性の技師がいないため、男性の技師になっていきます。子宮頸がん検診の医師も、検診委託機関に男性の医師しかいないため男性です。

●受診中の託児
保健福祉センターでの検診は託児ができる場合があります。お申し込みの時、ご相談ください。

●対象者と検診料金

検診項目	対象者	検診料金
胸部レントゲン検診	40歳以上の市民	200円
	65歳以上の市民	無料
胃がん検診	40歳以上の市民	900円
乳がん検診	40歳以上の女性	1,000円
子宮頸がん検診(集団)	20歳以上の女性	600円
子宮頸がん検診(医療機関)		800円
大腸がん検診	40歳以上の市民	400円

●検診料金の値下げ、無料化
1年間の自分の健康を守るために、右表の検診料金を負担していただきたいと思えます。ただし、受診年度内に40歳・50歳になる方、70歳以上になる方、生活保護世帯の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料です。

●がん検診の内容を知りたい
本市では、次の検査方法で5つのがん検診を行っています。

- ①胸部レントゲン検診(胸部エックス線検査)
肺全体をエックス線で撮影し、異常を見つける検査です。
- ②胃がん検診(胃部エックス線検査)
検診車でバリウム(造影剤)と発泡剤(胃をふくらませる薬)を飲んで、エックス線撮影を行います。
- ③乳がん検診(マンモグラフィ)
専用のエックス線装置で乳房をはさんで撮影します。触診では見つけられないような小さながんを見つかります。



- ④子宮頸がん検診(視診と内診と細胞診検査)
子宮の入り口付近から採取した細胞を観察し、異常がないか調べます。
- ⑤大腸がん検診(便潜血検査)
大腸にがんやポリープがあると、そこから出血して便に血液が混じることがあります。便の中の血液を調べ、大腸内の出血の有無を調べます。

●申込方法
健(検)診の日程は、毎年4月に全戸配布する健(検)診カレンダーや広報、ホームページに掲載しています。希望の検診の申し込み開始日を確認の上、電話でお申し込みください。

●結果の通知は？
異常があった方には、文書で連絡します。

※お問い合わせは
保健福祉センター
(☎863・7373)まで

